

(1)事業活動収支計算書関係比率

分類	No.	比率名	算式	評価	平成30年度	
経営状況はどうか	1	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△	41,095,598 円	2.6%
			1,554,274,409 円			
収入構成はどうなっているか	2	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	—	1,246,130,000 円	80.7%
			1,544,893,958 円			
	3	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	△	14,697,505 円	0.9%
			1,554,274,409 円			
	4	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	△	5,317,054 円	0.3%
			1,544,893,958 円			
4	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	△	191,473,000 円	12.3%	
		1,554,274,409 円				
4	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	△	191,473,000 円	12.4%	
		1,544,893,958 円				
支出構成は適切であるか	5	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	▼	926,708,025 円	60.0%
			1,544,893,958 円			
	6	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	△	485,737,229 円	31.4%
			1,544,893,958 円			
	7	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	▼	75,735,506 円	4.9%
			1,544,893,958 円			
8	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	▼	0 円	0.0%	
		1,544,893,958 円				
9	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	△	79,247,136 円	5.1%	
		1,554,274,409 円				
10	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	—	169,737,988 円	11.2%	
		1,513,005,510 円				
収入と支出のバランスはとれているか	11	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	▼	926,708,025 円	74.4%
			1,246,130,000 円			
	12	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	▼	1,513,178,811 円	102.6%
			1,475,027,273 円			
13	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△	31,888,448 円	2.1%	
		1,544,893,958 円				
14	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△	16,331,103 円	1.1%	
		1,529,336,613 円				

経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計
 経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(2)活動区分資金収支計算書関係比率

分類	No.	比率名	算式	評価	平成30年度	
教育活動でキャッシュフローが生み出せているか	1	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△	-363,372,599 円	-23.7%
					1,531,526,448 円	

教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

※評価 …… 「△」:高い値が良い。 「▼」:低い値が良い。 「—」:どちらともいえない。

(3) 貸借対照表関係比率

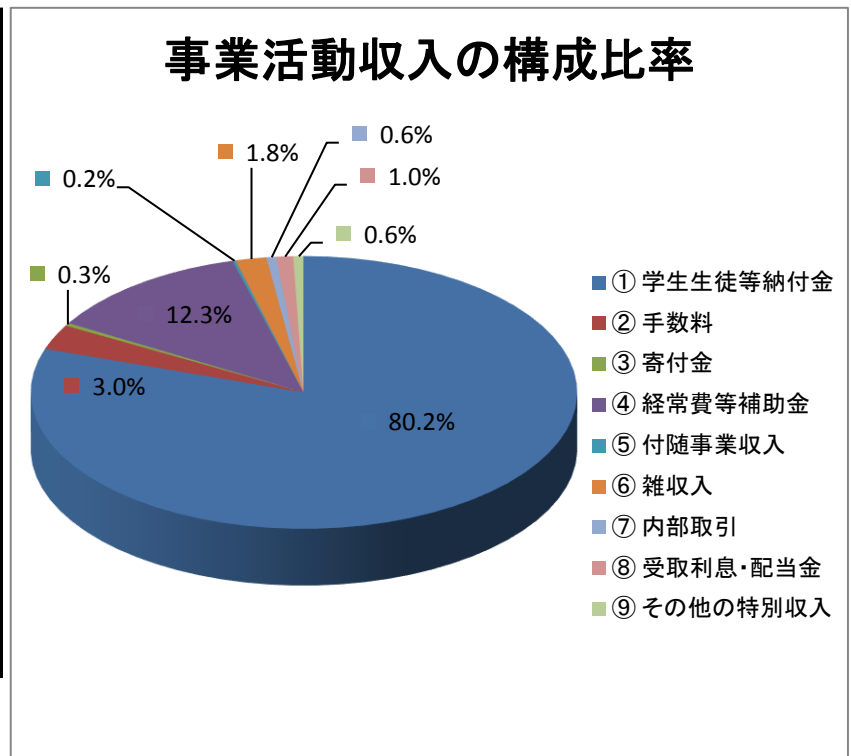
分類	No.	比率名	算式	評価	平成30年度	
自己資金は充実しているか	1	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△	7,964,123,652 円	92.3%
	2	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△	-968,688,035 円	-11.2%
	3	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△	8,932,811,687 円	99.9%
	4	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	△	3,803,405,283 円	104.3%
長期資金で固定資産は賄われているか	5	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	▼	8,073,281,283 円	101.4%
	6	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	▼	8,073,281,283 円	95.7%
資産構成はどうなっているか	7	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	8,073,281,283 円	93.5%
	8	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	▼	4,255,202,813 円	49.3%
	9	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	△	3,156,297,062 円	36.6%
	10	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△	559,350,814 円	6.5%
	11	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格}}$	—	2,350,236,633 円	49.8%
負債に備える資産が蓄積されているか	12	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	△	3,134,896,838 円	36.3%
	13	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	△	3,693,593,900 円	2.4年
	14	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△	559,350,814 円	290.3%
	15	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△	544,503,721 円	589.3%
	16	退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	△	466,297,062 円	100.0%
	負債の割合はどうか	17	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	▼	475,824,750 円
18		流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	▼	192,683,695 円	2.2%
19		総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▼	668,508,445 円	7.7%
20		負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	▼	668,508,445 円	8.4%

※評価 …… 「△」:高い値が良い。 「▼」:低い値が良い。 「—」:どちらともいえない。

平成30年度事業活動収支計算書構成比率

(単位:円)

■事業活動収入の部			
区分	科目	決算額	構成比率
教育活動収入	学生生徒等納付金	1,246,130,000	80.2%
	手数料	46,090,762	3.0%
	寄付金	5,317,054	0.3%
	経常費等補助金	191,473,000	12.3%
	付随事業収入	2,893,400	0.2%
	雑収入	28,547,927	1.8%
	内部取引	8,884,470	0.6%
教育活動外収入	受取利息・配当金	15,557,345	1.0%
特別収入	その他の特別収入	9,380,451	0.6%
事業活動収入計		1,554,274,409	100.0%



(単位:円)

■事業活動支出の部			
区分	科目	決算額	構成比率
教育活動支出	人件費	926,708,025	61.3%
	教育研究経費	485,737,229	32.1%
	管理経費	75,735,506	5.0%
	内部取引	24,824,750	1.6%
特別支出	資産処分差額	131,106	0.0%
	その他の特別支出	42,195	0.0%
事業活動支出計		1,513,178,811	100.0%

